

「寄り添って50年 金婚 おめでとうございます」

「金婚夫婦表彰式・敬老会」
主催 富合校区社会福祉協議会

9月22日に開催された式典で21組のご夫婦に村崎会長から「おめでとうございます。これからも仲良く元気でお過ごしください」と表彰状と記念品が手渡されました。「福祉のまちづくりを目指します」の村崎会長のあいさつに続き、くつき市議、宗熊本市南区役所次長、栗崎老人クラブ会長からお祝いの言葉。最後に、田中忠義・アヤ子御夫婦(廻江)が、金婚夫婦を代表して次のように謝辞を述べられました。

「50年を振り返ってみますと、富合町の各所でホタルが乱舞。その中で私たちも愛を育んできました。高度成長の時代の流れの中で、私たちのことだけで精一杯で、ホタルのことなど考えることは出来ませんでした。今では、木原地区の一部にしかホタルを見ることは出来ません。これからは、私たちの心の中に灯した、小さな光の中で残された人生を生きて行きたいと思います。若い人にリストラされないためにも、自分たちに何が出来るのか、何をやらなければならないかを確認めながら、しわだらけになったお互いの手や顔をもう一度にぎり合い、見つめ合ってがんばっていきたいと思います。本日はありがとうございました。社会福祉協議会の益々のご活躍をお祈りし謝辞とさせていただきます」。



田中ご夫婦

第一幼稚園のマーチング演奏 「会場が笑顔になりました。ありがとう」

幕が上がると同時におおきな拍手。ステージいっぱいの動き、大きな声と演奏。元気のプレゼントです。曲は「異邦人」(昭和54年発売)とAKB48の「ヘビーローテーション」。この日のために練習をし演奏。



西岡はるみ 歌謡ショー 「ありがとうございました。また聞かせてください」

赤のさくら模様の振り袖でステージに。ヒット曲「肥後の人」そして会場をなつかしい気持ちに誘った、昭和37年に流行った「島のブルース」「美空ひばりメドレー」などを熱唱。

九州新幹線全線開業記念曲「はるみのさくら祝い節」は富合町住民にはうれしい曲です。その曲の作曲者、坂本秀樹さんのテナーサックスの演奏「夜明けのスカット」「北の旅人」「マイウエイ」に「曲なのか、音色なのか、昔をいろいろ思い出しました。よかったです」との感想がありました。

